

「JRE 稲敷伊佐津太陽光発電所」の竣工式を執り行いました

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社（東京都港区、代表取締役社長：竹内一弘、以下「JRE」）は、本年4月1日に商業運転を開始したメガソーラー「JRE 稲敷伊佐津太陽光発電所」の竣工式を、5月30日に現地にて執り行いました。

式典には工事関係者や金融機関関係者各位にご列席賜り、参列者一同で発電所の無事の竣工を祝いました。

当発電所の年間計画発電量は、稲敷市の総世帯数の約12%に相当する約1,950世帯分の一年間の電力消費を賄うことができ、年間約3,400トン^{※1}（杉の木に換算すると約24万2900本分^{※2}）のCO2排出削減効果が見込まれます。

当社は今後も再生可能エネルギーによる発電所の開発・運営を通じ、再生可能エネルギーの普及と脱炭素社会の実現へ向け貢献してまいります。

^{※1} 温暖化対策法に基づく電気事業者ごとの排出係数（0.000486）で算出

^{※2} 杉の木1本が年間で平均14kgのCO2を吸収するとして算出

【発電所概要】

発電所名	JRE 稲敷伊佐津太陽光発電所
事業会社名	合同会社 JRE 稲敷伊佐津 (ジャパン・リニューアブル・エナジー・グループ)
所在地	茨城県稲敷市伊佐津
運転開始日	2019年4月1日
設備容量	6,052 kW (パネル枚数 18,340 枚)
年間計画発電量	約 700 万 kWh
売電先	東京電力エナジーパートナー株式会社
事業期間	運転開始から 20 年間



神事の様子

以上

本件に関するお問い合わせ先

ジャパン・リニューアブル・エナジー株式会社

広報 CSR 部 E-mail: pr@jre.co.jp